

提言書

高速道路は、経済活動を支える重要な社会資本であるとともに、自然災害への備えを高める上で不可欠な基盤です。

新型コロナウイルス感染症の拡大により社会経済が深刻な状況に陥っている現状において、高速道路をはじめとした道路の整備は、経済回復に向けた取り組みの牽引につながることに加えて、東京一極集中型から多核連携型の国づくりを大きく後押しするものと考えます。

また、発生の切迫度が高まる南海トラフ地震や、令和二年七月豪雨など、近年、激甚化・頻発化する自然災害への事前の備えを固めて、地域防災力の向上を図るためには、「四国8の字ネットワーク」の早期整備が不可欠であります。

このため、四国の総意として、次の事項について提言します。

- 一、「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消に向け、事業中箇所
の整備推進及び開通時期の早期提示
- 一、計画段階評価完了区間の早期事業化、計画段階評価の未実施区間の早期着手
- 一、「高速道路における安全・安心基本計画」による、暫定二車線区間の四車線化
について、優先整備区間の着実な整備とともに、残る区間の四車線化の早期実現
及びそれらのために必要な財源の確保
- 一、大規模更新・大規模修繕など老朽化対策の計画的な実施
- 一、アクセス道路を含めたスマートICの着実な整備や一時退出サービスの拡充、
SA・PAの整備・防災拠点化など地域との連携
- 一、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の実施状況を踏まえた、
国土強靱化の取り組みの加速化及び深化

高速道路ネットワークの整備や頻発する災害に備えた防災・減災対策、老朽化対策を含め、長期安定的に道路整備・維持管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和三年度予算では道路関係予算を拡大した上で、所要額を確保すること。

令和二年八月二十五日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会



四国経済連合会会長	佐伯 勇人
徳島県知事	飯泉 嘉門
香川県知事	浜田 恵造
愛媛県知事	中村 時広
高知県知事	濱田 省司